

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公開番号】特開2009-142670(P2009-142670A)

【公開日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-026

【出願番号】特願2009-34642(P2009-34642)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このような目的達成のため、本発明は、図柄の変動表示が可能な図柄表示装置と、始動入賞口に遊技球が入賞する毎に乱数を取得する乱数取得手段（例えば、本実施例における図柄変動要素取得手段621）と、乱数取得手段で取得された乱数に基づき特別遊技を実行するか否かの判定を実行する実行判定手段（例えば、本実施例における当たり乱数判定手段623）と、図柄表示装置に図柄を変動表示させた後に停止表示させる図柄変動過程を実行判定手段による判定結果に基づいて制御する図柄制御手段と、図柄制御手段により停止表示された図柄が予め定められた当たり図柄であるときに、遊技領域に設けられた可変入賞口（例えば、本実施例における大入賞口13）を入賞容易とする遊技を行わせる特別遊技実行手段とを備えた遊技機において、図柄変動過程（例えば、本実施例における変動パターン）の表示終了後に行われる遊技状態について予告可能であることを遊技者に報知する第1演出画像と、図柄変動過程の表示終了後に行われる遊技状態について遊技者に予告する第2演出画像とから構成されている演出パターンを複数記憶している演出パターン記憶手段（例えば、本実施例における演出パターン群メモリ624d）と、演出パターン記憶手段に記憶されている複数の演出パターンからいずれかの演出パターンを選択する演出パターン選択手段と、演出パターン選択手段により選択された演出パターンの表示を図柄表示装置にて実行する演出パターン実行手段と、遊技者により操作可能な操作手段と、操作手段における所定操作の検出を行う操作検出手段（例えば、本実施例における操作検出装置6b）と、演出パターン選択手段により選択された演出パターンに基づき、操作手段の操作を有効にするか否かの判定をする操作有効判定手段とを備え、演出パターン実行手段は、演出パターン選択手段により選択された演出パターンに設定されている第1演出画像の表示中であり、且つ、操作有効判定手段により操作手段の所定操作を有効にすると判定され、操作検出手段により操作手段の所定操作が検出された場合は、第2演出画像の表示を実行する。ここで、第1演出画像の表示が実行されてから予め設定されている第1制限時間内に操作手段の操作を行い、予め設定されている第2制限時間内にこの操作を止める操作を行ったときに所定操作が行われたと検出されるように構成されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

図柄の変動表示が可能な図柄表示装置と、始動入賞口に遊技球が入賞する毎に乱数を取得する乱数取得手段と、前記乱数取得手段で取得された乱数に基づき特別遊技を実行するか否かの判定を実行する実行判定手段と、前記図柄表示装置に前記図柄を変動表示させた後に停止表示させる図柄変動過程を前記実行判定手段による判定結果に基づいて制御する図柄制御手段と、前記図柄制御手段により停止表示された前記図柄が予め定められた当たり図柄であるときに、遊技領域に設けられた可変入賞口を入賞容易とする遊技を行わせる特別遊技実行手段とを備えた遊技機において、

図柄変動過程の表示終了後に行われる遊技状態について予告可能であることを遊技者に報知する第1演出画像と、前記図柄変動過程の表示終了後に行われる遊技状態について遊技者に予告する第2演出画像とから構成されている演出パターンを複数記憶している演出パターン記憶手段と、

前記演出パターン記憶手段に記憶されている複数の演出パターンからいずれかの演出パターンを選択する演出パターン選択手段と、

前記演出パターン選択手段により選択された演出パターンの表示を前記図柄表示装置にて実行する演出パターン実行手段と、

遊技者により操作可能な操作手段と、

前記操作手段における所定操作の検出を行う操作検出手段と、

前記演出パターン選択手段により選択された演出パターンに基づき、前記操作手段の操作を有効にするか否かの判定をする操作有効判定手段とを備え、

前記演出パターン実行手段は、前記演出パターン選択手段により選択された演出パターンに設定されている第1演出画像の表示中であり、且つ、前記操作有効判定手段により前記操作手段の所定操作を有効にすると判定され、前記操作検出手段により前記操作手段の所定操作が検出された場合は、第2演出画像の表示を実行し、

前記第1演出画像の表示が実行されてから予め設定されている第1制限時間内に前記操作手段の操作を行い、予め設定されている第2制限時間内にこの操作を止める操作を行ったときに前記所定操作が行われたと検出されるように構成されていることを特徴とする弾球遊技機。